

## 外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載 - 技術）

注）＊は改正要望申請時に外保連試案へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	要望点数	試案点数
洗腸指導料	ストーマからの排便を促す洗腸法（灌注排便法）の指導料を算定する	1,300点	*
ストーマケア療養指導料	入院中にストーマケアに熟練した医師、看護師が、専門的に指導管理することにより、ストーマ合併症の予防と早期発見や回復が可能となる	*170点	*
在宅ストーマケア指導管理料	入院以外のストーマを持つ患者に対して在宅ストーマケアに関する指導管理を行った場合に算定する	*500点	*
在宅コンチネントイレオストミーカテーテル排便指導管理料	コンチネント・イレオストミーを造設された患者に対する在宅でのカテーテル排便の指導管理料を算定する	2,400点	*
ロービジョン指導管理料およびロービジョン訓練	日常及び社会生活における支障を軽減するための保有視機能を利用した補装具、固視訓練や生活訓練、その他の眼科的指導及び訓練	*指導1回:約90分 480点 *訓練1回:45分 180点	*指導1回:約90分 480点 *訓練1回:45分 180点
泌尿器科特定疾患指導管理料（前立腺肥大症、神経因性膀胱）	前立腺肥大症および神経因性膀胱患者における、生活、栄養の指導、服薬指導などを含めた専門的治療計画を作成しそれに沿って総合的ケアを行う	*230点	*230点
シスプラチン・エトポシドの悪性脳腫瘍への適応拡大	シスプラチン・エトポシドの悪性脳腫瘍への適応拡大	シスプラチン・エトポシドの悪性脳腫瘍への適応拡大	*
ウロキナーゼの血腫溶解への適応拡大	くも膜下出血、脳出血における血腫溶解へウロキナーゼの適応拡大	ウロキナーゼの血腫溶解への適応拡大	*
軟性内視鏡に対する洗浄及び高度作用消毒	自動洗浄消毒機により内視鏡を洗浄し高度作用消毒剤の薬液に浸漬して消毒	100点（洗浄・高度作用消毒実施加算）	人件費、機器減価償却費で35点（2005年のコスト実態調査結果に基づく）
内視鏡ファイリングシステム	検査画像をデジタル画像として保存するとともに診断等に資する	*130点の加算（区分D295～D324）	*1検査当たりコスト:113点～228点（約1,130～2,285円）
皮膚病像撮影料	皮膚病変所見のデジタルカメラ（カメラ）による診療録に準じた記録の作成、保存である	190点	190点
他医検査判断料（骨塩、筋電図等生理機能検査等）	当該医療機関以外の医療機関での検査結果の判断料の算定	*34点～150点（現行点数に準ずる）	*34点～150点（現行点数表D026に準ずる）
実物大臓器立体モデルによる手術計画	CTやMRI情報をコンピュータと連動させた切削器械や光造型法により頭蓋頸顔面立体モデルを作成し、手術シミュレーション、人工骨の成形等に使用	150,319円から210,319円（一部が実費のため）	3D-CTによる顔面・頭部実像モデル検査として登録されており、技術度D-2、施行医師数1人15分、技師1人40分、全所要時間1時間、60,319円
再診時、他医撮影MRI、CT読影料	再診時に当該医療機関以外の医療機関で撮影したフィルムについての診断料の算定	*450点（現行点数に準ずる）	*450点（現行点数表E203に準ずる）
徒手筋力テスト	個々の筋力を徒手的に判定する	556点	556点
コンピュータによる筋力検査	コンピュータを内蔵した多用途筋機能評価運動装置を利用し各種関節モーメント、可動域、速度性能等を検査する技術	1,820点	1,820点
術中のレントゲン検査（透視）- A	非観血的手術、経皮的骨折固定術などに際して患部の位置、状態、形状等の診断のためレントゲンによる透視を行う	2,560点	1,460点
術中のレントゲン検査（透視）- B	骨折固定、異物除去などの術中に、患部の位置、状態、形状等の診断のためレントゲンによる透視を行う	4,140点	3,040点
関節可動域テスト	四肢の各関節及び体幹の可動域の計測	556点	556点
関節・脊椎ストレス撮影	関節・脊椎の不安定性の評価	*98点現行の単純撮影（65点）の1.5倍	538点
手指巧緻性機能検査	機器を用いて手指の巧緻性機能を定量的に評価する	596点	596点
手根管内圧測定	手根管内圧測定により、手根管症候群の確定診断が可能となる	1,510点	650点
多形態脳卒中MRI撮影	脳卒中急性期の診断のためのMRIの脳組織画像を一組のセットとした検査の算定用件の見直し、および保険点数の見直し	3,270点	3,270点
眼底3次元画像解析	光の干渉現象やレーザー、赤外線を利用し非侵襲的に眼底病変を解析し網膜の厚さを測定するとともに3次元画像解析を行う	2,140点	2,140点

## 外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載 - 技術）

注）＊は改正要望申請時に外保連試算へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	要望点数	試算点数
赤外線CCDを用いた眼振検査	赤外線CCDカメラを頭部眼前に装着し、視覚入力を遮断した条件下で、眼振ならびに異常眼球運動をTV画面上に拡大してモニターし、観察と記録を行う	471点	471点
肛門鏡検査	括約筋で閉ざされ、直腸鏡、ファイバースコープでは観察不可能な肛門内へ挿入し、肛門管内を直接観察し正確に判断する。同時に直腸最下部を観察する	硬性鏡：65点 肛門・その他：298点	硬性鏡：51点 肛門・その他：284点
尿失禁定量テスト(パッドテスト)	尿失禁患者において、体動時の失禁の量をパッドを用いて採取し、定量的に尿失禁の量を評価する検査	272点	270点
勃起障害検査 1.短時間の場合 2.夜間の場合	1 血管作動薬(プロスタグランジンE1)を用いた陰茎海绵体注射テスト 2 夜間勃起現象を記録し、勃起機能の総合的能力判定に用いる	短時間：976点 夜間1,934点	短時間：676点 夜間：1,934点
超音波検査法、断層撮影法、造影超音波法(臓器、腫瘍に関するもの)	主に肝胆膵領域の鑑別	造影超音波技術料(読影料を含)2,000点	1,000点
運動療法処方料(運動器リハビリテーション処方料)	骨・関節・脊椎、筋・腱、中枢神経、末梢神経等の疾患または外傷による機能障害に対する運動療法に対する処方料である	7,690点	1患者に評価・処方に20分は要する。外保連試算に基づく医師の1時間あたりの人件費より算出した点数。技術区分C-2レベルでの試算人件費は23,080円/時間である
在宅運動療法処方料	自宅において自主的に運動療法を行うための処方箋を発行する	*700点	*700点
直腸肛門機能回復訓練	機能回復訓練(バイオフィードバック療法)	364点	340点
尿路ストーマカテーテル交換料	手術による尿路ストーマを造設し、これには適切な尿排出管理と尿閉塞予防の為にカテーテルの交換が行われる	*100点	640点
ストーマサイトマーキング	ストーマ造設の際の位置決定	*755点	627点
皮膚軟部組織損傷創洗浄	開放創に対し食塩水等を用いての念入りの洗浄を行ない、デブリドマンを代替する	135点	135点
皮膚潰瘍処置(100ヘイホリセンチメートル未満)	種々の原因により生じた皮膚潰瘍処置の技術であり、潰瘍の程度により専門知識に基づく適切な治療を行う	95点	95点
皮膚潰瘍処置(500ヘイホリセンチメートル未満)	種々の原因により生じた皮膚潰瘍処置の技術であり、潰瘍の程度により専門知識に基づく適切な治療を行う	212点	212点
皮膚潰瘍処置(1,500ヘイホリセンチメートル未満)	種々の原因により生じた皮膚潰瘍処置の技術であり、潰瘍の程度により専門知識に基づく適切な治療を行う	314点	314点
創部テーピング	縫合術を伴わない創固定	137点	137点
透視下関節内注射	触診のみでは関節注射を行い難い関節に対し、レントゲン透視下に安全かつ確実に関節内注射を行う方法である	340点	270点
関節腔内洗浄(パンピング)	局所麻酔下に関節腔を開け、生理食塩水などで何回か洗浄する操作。関節腔内に生じた異常な状態を早期に改善するために行う	612点	462点
小関節テーピング	罹患している小関節に対してテーピングテープを用いて固定を行う	211点(12mmx12mm) 220点(19mmx12mm) 226点(25mmx12mm)	194点
爪甲穿刺	爪甲に指骨針(ピン)等で穴を開けて爪甲と爪床の間に貯留した血液、膿等を除去する	68点	68点
幽門後栄養チューブ挿入設置(X線透視下)	経腸栄養を目的としてX線透視下に経鼻または経胃瘻的に十二指腸や空腸に栄養カテーテル先端を留置する	460点/回	460点/回
希釈式自己血輸血(採血を含む)	患者から手術時の麻酔導入後に自己血液を採血・保管し、液状で室温保存する操作である	2,020点	1,890点
自己フィブリン糊(全血200ml処理ごとに)	用手法またはフィブリン糊調製装置を用いて自己全血から自己フィブリン糊を作成し、術野において血管縫合・止血・髄液防止などに使用する	1,488点	1,308点

外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載 - 技術）

注) \*は改正要望申請時に外保連試案へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	要望点数	試案点数
神経モニタリングの使用加算	術中の脳内細胞外神経活動電位、大脳脳幹機能マッピング、運動誘発電位、聴性脳幹反応、体性感覚誘発電位、視覚誘発電位、脳表・脳内脳波モニタリング	脳内細胞外神経活動電位、大脳脳幹機能マッピング:7,059点、大脳皮質直接刺激による運動誘発電位:8,824点、聴性脳幹反応、体性感覚(視覚)誘発電位:5,000点、頭蓋内(深部)脳波硬膜下(脳実質)導出:4,942点	脳内細胞外神経活動電位、大脳脳幹機能マッピング:7,059点、大脳皮質直接刺激による運動誘発電位:8,824点、聴性脳幹反応、体性感覚(視覚)誘発電位:5,000点、頭蓋内(深部)脳波硬膜下(脳実質)導出:4,942点
脳深部刺激療法中の刺激条件設定の加算	脳深部刺激療法で優れた効果を発揮するためには適切な刺激条件の設定が必要	*1,000点	*1,000点
脳腫瘍手術時におけるニューロナビゲーター使用時の手術加算	患者の術前あるいは術中画像と術野のプロープの位置情報をもとに、手術操作位置、手術目標までの方向と距離などを即時的に表示する手術支援装置	*10,000点	*
移植用皮膚、粘膜採取手術	皮膚提供者からの皮膚、粘膜採取	5,290点	2,230点
鏡視下自家軟骨移植術	自家関節軟骨を採取し、軟骨欠損部位に移植し、関節機能の修復を計る	鏡視下自家軟骨移植術:60,730点、関節軟骨形成術:32,130点	鏡視下自家軟骨移植術:50,730点、関節軟骨形成術:22,130点
軟部病変に対する試験切除(切開生検を手術へ移動)	軟部病変に対する診断、治療方針決定のため、麻酔下に切開し、病変部より病理組織診断に必要な組織片を採取する	肩甲骨・上腕骨・大腿骨 4,830点 前腕骨・下腿骨 4,830点 鎖骨・手・足・指(手・足) 2,290点	肩甲骨・上腕骨・大腿骨 4,830点 前腕骨・下腿骨 4,830点 鎖骨・手・足・指(手・足) 2,290点
関節鏡検査	関節鏡を用いて関節内病変の診断を低侵襲で行う	関節切開術 肩・股・膝 3,380点 胸鎖・肘・手・足 1,690点 肩鎖・指(手・足) 968点	関節切開術 肩・股・膝 3,380点 胸鎖・肘・手・足 1,690点 肩鎖・指(手・足) 968点
インストルメンテーションを併用した脊椎固定術(椎体に達しないもの)	金属製内固定具を併用した脊椎固定術	頸椎 52,880点 胸椎 67,990点 腰椎 67,990点	頸椎 52,880点 胸椎 67,990点 腰椎 67,990点
椎体形成術	骨粗鬆症性胸腰椎新鮮圧迫骨折に対し、潰れた椎体にセメントなど骨置換剤を経皮的に注入して、椎体の変形を矯正かつ強度を即時的に獲得、除痛を得る	32,000点	32,000点
定位的脳内血腫除去術	定位的手術手技を利用した低侵襲の手術法である	38,680点	38,680点
ステント併用による頸部脳血管形成術(頸動脈、椎骨動脈)	脳血管(頸動脈、椎骨動脈)狭窄に対する血管拡張・ステント留置	100,850点	41,100点
内視鏡下硬膜外癒着剥離術	仙骨裂孔から挿入されたファイバースコープによって硬膜外腔を観察しながら、カテーテルによる癒着剥離、生理食塩水による洗浄、その後の薬液注入	36,810点	25,910点
頭蓋内神経内視鏡下手術	神経内視鏡を用いた脳腫瘍摘出術、脳内血腫除去術	頭蓋内(神経)内視鏡手術 脳腫瘍摘出術 87,510点(加算分8,210点)、頭蓋内(神経)内視鏡手術 脳内血腫除去術58,340点(加算分33,340点)	頭蓋内(神経)内視鏡手術 脳腫瘍摘出術 87,510点(加算分8,210点)、頭蓋内(神経)内視鏡手術 脳内血腫除去術58,340点(加算分33,340点)
頭蓋顔面拡大再建術	クルーゾン病、アペール症候群などの頭蓋顔面骨先天異常に対する機能形態再建を目的とした頭蓋顔面骨を一体化した骨切移動術である	200,080点	168,080点
頭蓋顔面拡大再建術(延長器使用)	クルーゾン病、アペール症候群などの頭蓋顔面骨先天異常に対して頭蓋顔面骨を一体化した骨延長術を行い機能形態再建を行うものである	290,460点	134,460点
喉頭気管分離術	喉頭と気管を分離し上部消化管と上部気道の経路を全く別のものにすることにより誤嚥を防止し、経口摂取を可能にして肺炎を予防する	24,860点	24,860点
顎骨腫瘍切除後のインプラント植立術	残存顎骨にインプラントを植立する 口腔外科専門医あるいは口腔インプラント認定医	23,270点	16,570点
顎骨延長術(骨延長装置使用による)	骨延長装置を顎骨に埋入し、毎日わずかつづ延長し自然な顎骨の新生力を利用した技術	1.下顎骨延長術 1)片側 28,920点 2)両側 3,080点 2.上顎骨延長術 29,610点 3.歯槽骨拳上術 8,850点	1.下顎骨延長術 1)片側 28,320点 2)両側 2,480点 2.上顎骨延長術 29,010点 3.歯槽骨拳上術 8,250点
骨内異物除去術(下顎骨) 1.1ヶ所の場合	1ヶ所の場合における顔面骨の骨内異物(挿入物)除去術	6,180点	6,180点

## 外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載 - 技術）

注) \*は改正要望申請時に外保連試案へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	要望点数	試案点数
骨内異物除去術(下顎骨) 2.多発の場合	顔面骨の骨内異物(挿入物)除去には、顔面という露出部であることから切開部位が限られ、下顎骨腫瘍摘出術と同様の技術と時間を必要とする	14,160点	14,160点
骨内異物除去術(頬骨)	顔面骨の骨内異物(挿入物)除去には、顔面という露出部であることから切開部位が限られ、頬骨腫瘍摘出術と同様の技術と時間を必要とする	6,180点	6,180点
骨内異物除去術(上顎骨)	顔面骨の骨内異物(挿入物)除去には、顔面という露出部であることから切開部位が限られ、上顎腫瘍摘出術と同様の技術と時間を必要とする	8,540点	8,540点
甲状腺部分切除、甲状腺摘出術 1片葉のみの場合(内視鏡下含む)	従来の術式に内視鏡下補助下を加えた	甲状腺部分切除術:10,620点 内視鏡下甲状腺切除術:22,130点	甲状腺部分切除術:10,620点 内視鏡下甲状腺切除術:22,130点
内視鏡(補助)下甲状腺切除術 1.片葉のみ	頸部に皮切を加えず、非露出部である前胸部または腋窩から頸部の皮下へ内視鏡を挿入し甲状腺を切除する	26,430点	22,130点
内視鏡(補助)下甲状腺切除術(亜)全摘術 2.両葉の場合	頸部に皮切を加えず、非露出部である前胸部または腋窩から頸部の皮下へ内視鏡を挿入し甲状腺を切除または(亜)全摘をする	37,500点	33,200点
副甲状腺摘出術(内視鏡下補助下によるもの)	従来の術式に、内視鏡下補助下を加えた	22,130点	22,130点
内視鏡(補助)下副甲状腺摘出術	頸部に皮切を加えず、非露出部の腋窩、乳輪縁に小切開を加え内視鏡を挿入し、CO2送気あるいは吊上げ法により視野を良好にして病巣部を摘出する	26,440点	22,140点
内視鏡(補助)下甲状腺切除術 バセドウ病甲状腺亜全摘術	頸部に皮切を加えず、非露出部の腋窩、両乳輪縁などに小皮切を加えCO2送気などで視野を確保し、内視鏡下に腫大した甲状腺を亜全摘術する	56,870点	44,270点
深頸部膿瘍切開排膿術	副咽頭間隙、咽後間隙などに生じる深頸部膿瘍に対し、切開排膿を行なう	14,160点	14,160点
乳腺悪性腫瘍に対するセンチネルリンパ節生検術	リンパ節転移がないと予想される患者に対するリンパ節生検法	10,370点	9,670点
内視鏡下胸腺摘除術	胸腺腫に対する胸腔鏡下胸腺摘除術で、5cmありは10cmの胸腔鏡を用いる。左右胸腔に6カ所の胸腔鏡ならびに内視鏡手術機械挿入用の小孔を設置	76,100点	76,100点
縦隔組織試験切除術2.縦隔鏡による	全身麻酔下に頸部を切開して、気管前面などに縦隔スコープを挿入してリンパ節などの組織を採取し病理学的検索などを行う診断の手術	13,570点	13,570点
経心筋レーザー血行再建術(TMLR)	高出力レーザーを用い心外膜側から左室内腔に向け心筋を貫通する小さいチャンネルを作成し血管新生により虚血心筋の血行再建を目指す治療法である	単純:76,920点、 冠動脈血行再建を伴う:107,690点 レーザーハンドピース(価格未定)を除く	単純:76,920点、 冠動脈血行再建を伴う:107,690点
破裂例に対する腹部大動脈瘤の手術	部大動脈瘤破裂に対する人工血管置換術	74,180点	74,180点
バルーンカテーテルによる大動脈遮断	大腿動脈からバルーンカテーテルを挿入し胸部下行大動脈の血行を一時遮断し血圧の低下を防止する	1,820点	1,820点
肺動脈血栓内膜摘除術	超低体温間歇的循環停止下に肺動脈を切開して、肺動脈壁の中膜と内膜の間で剥離して、内膜と共に器質化した白黄色の血栓を摘除する方法である	107,690点	107,690点
動脈形成術、吻合術 5.大腿膝窩動脈	大腿膝窩動脈の狭窄や閉塞に対して、血栓内膜を摘除し、さらに自家静脈か人工血管で血管を形成する	44,270点	44,270点
血管移植またはバイパス手術 下腿足部動脈	下腿動脈(前脛骨、腓骨、後脛骨動脈)ないし足部動脈(足背、足底動脈)への自家静脈を用いたバイパス手術	105,770点	105,770点
透析シャントにおける経皮的血管形成術	透析シャントの狭窄、閉塞に対し、バルーン、及び血栓除去カテーテル等の医療器具を用いて経皮的にシャント血流を改善させる	*8,000点	*8,000点
BRTO(バルーン閉塞下静脈瘤塞栓術)	バルーンカテーテルを用い、硬化剤を逆行性に注入し静脈瘤およびその他の側副血行路を閉塞する方法	55,680点	34,020点
腹部外傷に対するダメージコントロール手術	初回手術は止血を中心とし集中治療室で全身状態の改善を図り二期的手術ないしは三期的手術により根治を図る段階的の外科治療戦略	22,130点	22,130点
噴門側胃切除術	胃上部を切除し、胃下部を温存して胃全摘を避ける	89,620点	76,920点
十二指腸乳頭切除術	疾患の根治性から、膵頭部の切除を必要としない十二指腸病変に対し、臓器欠損を必要最小限としうる手術手技である	45,400点	29,020点

## 外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載 - 技術）

注) \* は改正要望申請時に外保連試案へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	要望点数	試案点数
空腸嚢移植術	切除後の消化管再建において、拳上空腸による空腸嚢の作成	13,290点	8,290点
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下に肝の部分切除を施行する	部分切除: 49,200点、 亜区域・区域切除: 60,270点	部分切除: 33,200点、 亜区域・区域切除: 44,270点
肝門部胆肝癌切除術	肝切除（癌浸潤の程度で異なるが、最小でも部分切除、最大では尾状葉切除を伴う拡大右葉切除や右三区域切除）胆管切除、肝内胆管空腸吻合	血行再建なし: 134,460点 血行再建あり: 168,080点	血行再建なし: 134,460点 血行再建あり: 168,080点
腓骨神経阻害薬・抗菌薬腓骨局所持続動注療法	重症急性腓骨炎に対して腓骨の炎症と感染制御のために腓骨局所に持続動注を行う	13,020点	13,020点
腹腔鏡下腓骨尾部腫瘍切除術 1脾摘に伴う	腹腔鏡下に腓骨尾部の腫瘍を切除する術式である	40,940点	33,140点
腹腔鏡下腓骨尾部腫瘍切除術 2脾温存による	腹腔鏡下に腓骨尾部の腫瘍を切除すると同時に、脾臓を温存する術式である	65,940点	55,340点
感染性腓骨壊死に対する腓骨壊死部切除術	壊死に陥った腓骨および周囲組織のみをdebridementする	50,570点	44,390点
腹腔鏡下大腸全摘術	有効性は、速やかな術後回復、疼痛の軽減、美容的に良好である点、などである。若年患者が多いことが特徴である	81,400点	66,400点
腹腔鏡下直腸脱手術 直腸挙上固定術	直腸脱に対して、腹腔鏡下に直腸固定を施行する術式である。創痛は軽く、開腹手術と比較して良好な術後経過をとると評価されている	14,160点	14,160点
膀胱水圧拡張術	麻酔下に膀胱鏡で観察しながら水を膀胱内に充満させ、膀胱内の状態を観察すると同時に、水圧で膀胱を拡張する	5,740点	5,740点
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍摘出術	従来開腹手術で行っていた前立腺全摘除術を、腹腔鏡を用いた鏡視下に施行するものである	125,140点	117,650点
造腔術4 腹腔鏡下骨盤腹膜利用による	腹腔鏡下に骨盤腹膜を利用して腔壁を形成する	39,550点	38,050点
子宮筋腫病巣除去術	病巣直上の子宮漿膜を切開し、病巣と健常漿膜および健常筋層との間を分離、切開する。病巣を最大限切除したあと、断端組織を吸収糸で縫合する	24,860点	24,860点
仙骨子宮神経切断術(腹腔鏡下)	仙骨子宮靭帯内を走行する神経を含めて凝固・切断	22,550点	22,550点
傍大動脈リンパ節郭清術	傍大動脈リンパ節郭清術	76,920点	76,920点

外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険既収載 - 技術）

注) \*は改正要望申請時に外保連試算へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	保険記号	現行点数	要望点数
ハイケアユニット入院管理料	集中治療室の後方ベッドとして、効率の良い集中治療室の運用を行うための管理料	A301-2	3,700点	*10,000点
特定疾患療養指導料の拡大	きめ細かい管理指導を要する整形外科疾患への適応拡大	B000	225点、147点、87点	225点、147点、87点
D215 超音波検査 2断層撮影法 イ 胸腹部	D215-2-イ胸腹部走査法のうち骨盤内臓器に対して行う体腔内走査法	D215-2-イ	550点	1,002点
胃・食道内24時間pH測定	食道下部にpHセンサーを挿入し、胃内容の逆流の有無・程度を検査する	D234	1,000点	10,337点
中耳機能検査(パッチテスト)	鼓膜穿孔部を小片で閉鎖して聴力の改善の有無を検討する	D244-6	100点	195点
眼底カメラ撮影	眼底カメラ撮影 通常の方法の場合におけるデジタル画像記録	D256	56点	629点
精巣、精巣上体組織試験採取術	造成機能を病理学的に評価するための精巣組織採取の方法	D417-12	360点	995点
画像診断管理料	医療施設内での画像診断の適応を判断・施行し、読影報告書を作成する	E001	87点	*450点
造影剤注入手技における註の廃止	造影剤注入手技 E003における後腹膜酸素注入手技料の廃止	E003	250点	-
選択的血管造影(加算)	動脈造影カテーテル法により主要血管の分枝を造影	E003-1 注	640点	780点
頸椎MRI、CT(単純、造影)の頭部よりの独立	頸椎のMRI、CTの撮影	E200-1,2,E202	620-1,600点	830 - 950点、1,220 - 1,600点
早期リハビリテーション加算の対象疾患の拡大	脊椎の骨折、靭帯損傷、末梢神経損傷の病名を明記する	H001	100-80-30点	*100-80-30点
早期リハビリテーション加算の理学療法、への拡大	対象施設基準の見直し	H001	100-80-30点	*100-80-30点
理学療法及び消炎鎮痛処置の単位制限、通減制の撤廃	*	H001,J119	-	-
理学療法及び消炎鎮痛処置複数部位加算	理学療法、消炎鎮痛処置の複数部位加算	H001,J119	H001(35-250点)、J119(24-35点)	*(35-250点)×1.5
幼少児ギブス処置加算	内反足の矯正位保持、骨折・脱臼の整復位保持のためにギブスで固定する	*	*	*新生児100分の200、幼児100分の50加算
処置料を52点(外来管理加算)以上に	52点以下の整形外科処置行為を52点以上に見直すこと	J000,J001,J11	35～50点	*52点
術後創傷処置(1日につき)	肛門部における術後創傷処置	J001	指=42点	肛門部(単純):141点 肛門部(複雑):327点
洗腸	肛門から洗腸用チューブを挿入し、温生食液などで結腸を洗浄する	J022	42点	191点
ミラー・アボット管(イレウス管)挿入法	イレウス管を経鼻または経肛門的に腸管内に挿入して、イレウスを解除する	J034	150点	経鼻的挿入-上部消化管内視鏡検査:3,080点 経肛門的挿入-下部消化管内視鏡検査・X線透視:2,830点
血漿交換療法(肝移植後C型肝炎再発に対するもの)	全血を血漿と血漿以外に分離し、二重濾過法等により有害物質等を除去する	J039	5,000点	10,750点
血漿交換療法(血液型不適合肝移植に対するもの)	抗ドナー抗体の除去を目的とし、肝移植前後に血漿交換を行う	J039	5,000点	10,750点
間歇的導尿(1日につき)	1日複数回熟練した医療職が施行し無菌的に排尿を促す	J065	150点	284点
介達牽引療法	頸椎及び腰椎牽引療法	J118	35点	*52点

## 外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険既収載 - 技術）

注) \*は改正要望申請時に外保連試算へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	保険記号	現行点数	要望点数
ギブス包帯管理加算	ギブス包帯後の指導管理による合併症予防と治療の促進	J122-J128	310-3,000点	*継続的管理料として250点月2回を希望
術中術後自己血回収術(濃縮、洗浄によるもの)	自己血回収装置を用い術中・術後出血から赤血球成分を回収し洗浄後に輸血	K923	5,000点	8,843点
感染患者の手術における加算	感染症患者に対する手術の加算	手術通則12	適応なし	*2,000点
内視鏡下(補助下を含む)手術	内視鏡下または内視鏡補助下に手術を行う	K005-1	1,660点	*内視鏡の使用認可の要望のため、点数要望なし
椎弓形成術	椎弓を切除・除去せず、椎弓を温存し、後方に開いて脊柱管を拡大する方法	K132	19,100点	29,010点
脊椎手術複数椎間一律加算	複数椎間に及ぶ脊椎手術の加算	K133,K134	10,100-20,600点	*1椎間増すごとに100分の50の加算
体外式脊椎固定術	頸椎脱臼骨折に対し、頭部のリングと体幹のプレースで頸椎を整復固定する	K144	22,000点	38,680点
複数手術の算定を可能にする	複数手術を必要とする場合に、きちんと算定されることを希望する	K177,K164-2	-	*
咽頭異物摘出術 2.複雑なもの	咽頭に介在する複雑な異物の摘出	K369-2	1,360点	6,230点
顎・口蓋裂形成手術 4.両側	両側性顎・口蓋裂に対し両側の裂を同時に閉鎖形成手術を行う	K407	14,900点	*所定点数の50/100加算(両側の場合)
下顎関節突起骨折観血手術	下顎関節突起骨折観血手術は部位(解剖学)的に難易度が高く別途評価すべき	K429-1,2	片側10,000点、 両側14,700点	41,435点
顎関節関節鏡下授動術	顎関節腔内の癒着病変を関節鏡下に剥離	K446-2	4,320点	39,460点
気管支形成を伴う肺切除術	肺悪性腫瘍に対する気管支形成を伴う肺切除術	K512	48,000点	103,780点
人工心肺時の「逆行性冠灌流」の加算	心停止手術時の心筋保護のため冠静脈洞から逆行性に冠灌流を行う	K598	-	*4,800点
ステントグラフト内挿入術(胸部大動脈)	動脈瘤および動脈解離に対する経カテーテル的 low 侵襲治療	K605-2-1	39,600点	68,320点
ステントグラフト内挿入術(腹部大動脈)	動脈瘤および動脈解離に対する経カテーテル的 low 侵襲治療	K605-2-2	31,600点	58,340点
ステントグラフト内挿入術(腸骨大動脈)	動脈瘤および動脈解離に対する経カテーテル的 low 侵襲治療	K605-2-3	24,800点	58,340点
四肢血管拡張術および血栓除去術	四肢静脈における閉塞狭窄に対する解除を目的とした血管内治療	K613	15,800点	*基本的には現行点数とステント費用でOK
胃ろう造設術	消化管の減圧または栄養補給のための胃外瘻造設術	K664	9,460点	*4,730点
生体部分肝移植術(レシピエント)	固有肝を摘出し、ドナーからの部分肝を移植する	K697-5	63,700点	206,670点
移植用部分肝採取術(生体)	末期的肝疾患に対する肝移植を目的とした、生体ドナーからの部分肝採取術	K697-4	48,000点	切除範囲により128,860点 又は147,420点
結腸切除(小範囲切除)	点数の見直し	K719-1	13,700点	16,570点
腸瘻、虫垂瘻造設術	消化管減圧または栄養補給のためのチュ - プ外瘻	K725	6,140点	3,070点
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	硬い結石や珊瑚状結石などの大きいものではESWLのみでは治療が困難	K768	19,300点	併用治療した際の点数加算
内視鏡下移植用腎採取術	内視鏡下で生体腎移植用の腎臓を採取する	K779	21,700点	75,580点

外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険既収載 - 技術）

注) \*は改正要望申請時に外保連試案へ記載されていないことを表す

技術名	技術の概要・要望	保険記号	現行点数	要望点数
バルトリン腺嚢胞摘出術・造袋術	バルトリン腺を摘出する根治術と保存手術	K848	2,760点	4,120点
硬膜外麻酔 2)腰部 3)仙骨部	腰部及び仙骨部に対して硬膜外麻酔	L002	2)腰部:800点 3)仙骨部:340点	2)腰部・仙骨部800点



外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載・既収載 - 材料）

材料名	材料の概要・要望	要望点数(材料の値段)
プラスチックギブス(特定材料)	プラスチックギブスを特定保険材料として認めてほしい	一巻660円から1,200円である。一回のギブス包帯で2 - 4巻使用する
内視鏡手術ディスポ器具・材料	ディスポチューブ、ディスポブレード、ディスポプローブ	『内視鏡手術ディスポ器具・材料』として特定治療材料化5,000点
人工鼻(フィルター)	全身麻酔中に気道湿度保持は必要不可欠	100点から200点
ディスポーザブル超音波水晶体乳化吸引セット	超音波乳化吸引術における使い捨て器具を梱包したパック化製品	6,050点(60,500円)
ディスポーザブル硝子体手術セット	硝子体手術における使い捨て器具を梱包したパック化製品	11,200点(112,000円)
マイクロデブリッター用各種ブレード	病変除去と出血吸引を同時に行い内視鏡下副鼻腔炎手術を安全に実施できる	18,000円～35,000円
1. ヒスカス(ソフト卵管造影通気通水カテーテル)	ヒスカス(ソフト卵管造影通気通水カテーテル)	3,000円
リングベッサリー(子宮脱用)	リングベッサリー(子宮脱用)	2,500円
ユーテリンマニピレータ	腹腔鏡下手術において、子宮を把持、挙上するために子宮腔内に挿入する器具	10,000円
顎骨用インプラント植立材料	顎骨切除後に機能回復のために用いるインプラント植立材料	6,700点
穿刺部止血デバイス	用手圧迫して止血していた穿刺部を確実に止血するための医療材料	31,000円(現在の値段)
冠動脈バイパス術用自動吻合器Passport	冠動脈バイパス術における大伏在静脈 - 大動脈吻合の自動吻合器	15,000点、自動吻合器加算として他科並みの55,000円
胃瘻造設セット	胃瘻造設に使用する特別な材料(胃瘻造設セット)	実費
臓器保存液(ピアスパン、クストディオール)	臓器移植の際に用いる、灌流・保存液	ピアスパン:1本3,645点、クストディオール:1本2,500点
食道ブジー用バルーンカテーテル	上部消化管狭窄をバルーンによる圧力で改善する	6,500点
大腸に対する消化管ステント(EMS)	大腸狭窄に対する金属ステントEMS挿入術	13,700点
創部保護開創器::Wound Protector & Atraumat	弾力性のある筒状のポリウレタン性フィルムと2個のO型のリングから構成	都道府県の購入価格によって定めるのが適当。
ベッセルシーリングシステム	主要血管および大網・間膜・靭帯等の処置を安全・確実に行うバイポーラ装置	本機器使用時に2,000点の加算
経皮的椎間板摘出術用器械ニュークレオトム	経皮的椎間板摘出術に用いる器械	100,000円
尿路用ガイドワイヤー	泌尿器科手術、処置、検査等で使用されるガイドワイヤー	400点(¥4,000)
前立腺針生検に用いる生検針	前立腺針生検に使用する生検針の保険収載	前立腺生検針 定価で4,000から12,000円
骨セメントミキシングシステム	リ・ユースャブルな部分とディスポーザブルな器具がある	ディスポの費用が償還価格になっておらず、病院の持ち出し(赤字)になる
術後排液パック	低圧持続吸引器(携帯型)	償還価格(告示価格)5,000円(消費税込み)
手術時ディスポ	術者・看護士等の術衣、四角巾、マスク、帽子、手術室用靴、患者の衣類等	841点 ガウン3、ドレープ1、四角巾3で計算
下肢静脈瘤に対する弾力性ストッキング	下肢静脈瘤に対する圧迫療法としての弾力性ストッキング	300～1,000点(3,000円～10,000円)

外保連による改正要望のうち平成18年度診療報酬改定で不採用の項目（保険未収載・既収載 - 材料）

材料名	材料の概要・要望	要望点数(材料の値段)
弾力包帯	適度の伸縮性を有した厚手の包帯材料	5cm×4.5m 350円、7.5cm×4.5m=500円、10cm×4.5m=700円、17.5cm×4.5m=1,180円(消費税含まず)
頸椎カラー(頸部固定帯加算)	ポリウレタンフォームあるいはプラスチック製の頸部の固定帯	4,000円
特殊縫合糸	非吸収性合成縫合糸、吸収性天然縫合糸及び吸収性合成縫合糸	350円(ナイロン糸)～18,333円(エチボンドエクセル)
大動脈ステント作成時のステントの特定保険医療材料の償還化	大動脈瘤に対し血管内より治療を行なう	Zステント 20,000点/個
インフレーションデバイス	経皮的血管形成術の際用いるバルーン拡張用デバイス	15,000円
大動脈用ステントグラフト	大動脈瘤に対するステント留置	140,000点(1,400,000円)
ディスプレイ胸腔内持続吸引装置	開胸術、心臓手術の処置や術後に胸腔・心膜腔の排液、排気目的で用いる	1個あたり700点
ステイプラー(自動縫合器)	縫合材料	一個あたり3,900円
シリコンオイル	網膜硝子体手術後の網膜タンポナーデ物質として使用される	5,000点(50,000円)
頭頸部用血管拡張用ステントセット	頸部頸動脈及び椎骨動脈狭窄の拡張用に用いる金属メッシュの筒状のステント	ステント 29,300点、アンギオシール 4,000点
気管・気管支ステント	気管・気管支の狭窄に対する気管、気管支ステント挿入	本体 180,000円、ガイドワイヤー 23,000円
血栓溶解剤	急性心筋梗塞時に用いるため	20,000点
サイファーステント	冠動脈狭窄の治療に用いる サイファーステントを50,000円値下げし、経皮的冠動脈ステント留置術を50,000円値上げする	ステント留置術 27,800点、サイファーステント 371,000円